

『スポーツの日記念事業』

令和4年度 第40回千歳少年少女柔道優勝大会兼 千歳中央ライオンズクラブ旗・千歳市青少年育成市民会議旗・佐藤壽保旗 争奪柔道大会要項

1. 趣 旨： 本大会は、柔道の正しい普及と次世代を担う青少年の健全育成を図ることを目的とする。
2. 日 時： 令和4年11月13日（日）
午前の部：開場 午前8時00分 開会式 午前9時00分
小学生低学年団体戦・小学生高学年団体戦・小学生1・2年の部
小学生3・4年の部・小学生5・6年の部
午後の部：開場 午後1時：00分（予定）開会式 午後1時30分
中学生団体戦・中学生男子の部・中学生女子の部
3. 会 場： 千歳市開基記念武道館 柔道場（千歳市あずさ1-3-1 Tel 0123-22-2100）
4. 主 催： 千歳柔道連盟
5. 参加資格： (1) 対象は、小学校、中学校に在籍している者であって、「学校」「柔道場」「クラブ」「少年団」等の単位とする。
(2) 参加者については、選手本人の出場意思を確認し、健康に十分な配慮を行い保護者並びに団体の承認を得たものに限る。
(3) 監督・チーム（団体）・選手とも北海道柔道連盟をとおして、該当年度全日本柔道連盟に登録していること。
(4) 監督は、全日本指導者資格を有している者。
(5) 出場チームは、必ず全日本柔道連盟に登録している監督又は指導者が引率する事。
(6) 傷害保険については主催者負担で加入する。
(7) 大会中における負傷・疾病については応急処置を施すが、それ以外は傷害保険の範囲内で責任を負うものとする。
(8) 皮膚真菌症（トリコフィトン・トズランス感染症）について発症の有無を各所属の責任において必ず確認する事。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行う事。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場が出来ない場合もある。
(9) 脳震盪対応について（選手および指導者は下記事項を遵守すること）
ア 大会前一か月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
イ 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。（尚、至急、専門医（脳神経外科）の検査を受ける事）
ウ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得る事。
エ 当該選手の指導者は、大会事務局および全柔連に対し書面により事故報告書を提出する事。
6. 試合方法
(1) 団体戦（男女混合可）
ア 小学生 低学年（1年から3年）の部・高学年（4年から6年）の部、及び中学生の部
イ 1団体から各部に2チーム出場できる。但し主催団体はこの限りでない。
ウ チーム編成は監督1名、選手5名、補欠2名の計8名とする。やむをえず選手が5名に満たない場合は、3名以上であれば出場できる

エ 選手のオーダーは段、級、学年は自由とするが、負傷・事故防止の為、体重の重い順に大将から配列し、試合中に負傷等で欠員が生じた場合も対象から順に配列し、最も軽い位置を欠員とする

オ 試合はトーナメント戦とする。

カ チーム間の勝敗の決定は次による

(ア) 勝者数の多いチームを勝ちとする。

(イ) アで同等の場合は「一本」(それに同等の勝ちを含む)による勝者数の多いチームを勝ちとする。

(ウ) イで同等の場合は、「技有」による勝者数の多いチームを勝ちとする。

(エ) ウで同等の場合は、代表者1名を「引き分け」であった対戦の中から一試合を抽選で決定し小学生1分中学生1分30秒)を1回行い勝敗を決する。(優劣が決しない場合は旗判定とする。GSは行わない。)

(2) 個人戦

ア 小学生 低学年(1~2) 中学年(3~4) 高学年(5~6)の部

中学生 男子の部・女子の部

イ 各チームから2名出場できる。但し主催者団体はこの限りでない。

ウ 試合はトーナメント戦とする。但し、出場選手が少人数の場合はリーグ戦とする。

7. 試合時間

団体戦、個人戦ともに中学生3分、小学生2分としランニングタイムとする。(必要に応じ止めるものとする。)

但し、決勝戦については、小学生、中学生ともに正規時間とする。

8. 審判規定

(1) 試合は、国際柔道連盟試合審判規定(2018~220)及び国内における「少年大会特別規定」で行う。

(2) 勝敗の判定基準

ア 団体戦 「一本」「技有」又は「僅差」とする。「僅差」とは双方の選手間に技による評価(技あり)がない、または同等の場合、「指導」差が2以上あった場合に少ない選手を「僅差」による優勢勝ちとする。1差であれば「引き分け」とする。

イ 個人戦 勝敗の判定基準は「一本」「技有」又は「指導2」とし、得点差が無い場合は旗判定とする。(GSは行わない)

9. 表彰 団体試合・個人試合ともに優勝・準優勝・3位(1団体・1名)までを表彰する。

表彰は各学年の部が終了次第実施する。

10. 審判監督会議

午前の部 午前8時30分 審判会議 終了後 監督会議

午後の部 午後1時20分 審判会議 終了後 監督会議

11. ゼッケン

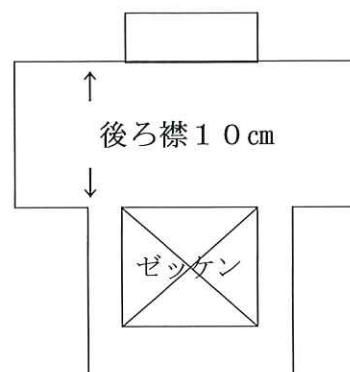
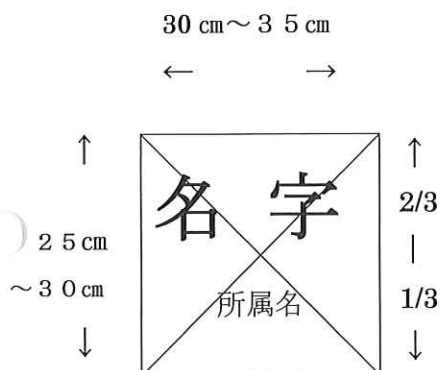
(1) 参加選手はゼッケン(名字、所属名入り)を柔道衣に取り付けること。

(2) ゼッケンを取り付けていない選手は、原則出場できない。

布 地	白色(晒、太綾)
サ イ ズ	横30cm±3cm×縦22cm±3cm
文 字 位 置	名字(苗字)は上側2/3、所属名は、下側1/3横書き
書 体	太いゴシック(楷書)、男子は黒色、女子は濃い赤色
縫 い 位 置	後ろ襟から10cm、対角線にも強い糸で縫い付ける

例図1 ゼッケンの文字位置・サイズ

例図2 ゼッケンの縫い位置



12. 申し込み方法

同封の申込用紙にて令和4年10月27日木曜日まで下記事務局まで郵送にて申込みをお願い致します。

(*FAX・メールでの受付はしておりません。)

参加料については申込同日、以下の口座にお振込み願います。

参加料 団体戦 1チーム 7,000円
個人戦 1名 1,000円(団体戦登録選手は必要なし)

【振込口座】 北洋銀行千歳中央支店 千歳柔道連盟 会長 稲村政彦
口座番号 4229760

オーダー提出先／ 問い合わせ

〒066-0072 千歳市自由が丘2丁目8-14

千歳柔道連盟事務局 木原 誠治 宛 TEL 080-4503-2672

13. 抽選会 令和4年10月30日 大会事務局で行う。

14. 新型コロナウイルス感染予防対策

- ア. 大会当日開場受付で参加同意書、健康チェック表を監督がまとめて提出する事。
保護者の参加同意のサインが無い場合、健康チェック表が無い場合は出場を認めない
- イ. 入場する際に発熱や体調不良がある場合は会場への入場はできない
- ウ. 受付後に手指の消毒を行い入場する事
- エ. 試合中以外はマスクをする事。参加者全てにマスクの着用をお願いするとともに
試合実施時のみマスクを外して試合を行う事とする、団体戦の開始時、終了時の
礼を行うときはマスクを着用のこと
- オ. 全ての間、大声での指示、指導は禁止とします。

15. その他：

- (1) コロナの情勢如何によっては急遽大会が中止となる可能性もあります。
- (2) コロナ過の為、開会式は実施いたしません。
- (3) 保護者は選手1名につき1名可といたします。

各チームに置きまして、会場となる柔道場には選手、監督の他、出場選手の保護者のみとし、他のチームは隣の剣道場を待機場所とする。

*各チームに置きましては審判のご協力をお願いいたします。

*審判の先生に関しましては午前・午後共に会場内入場可とします。

*審判の先生方には昼食をご用意いたします。

- (4) 個人情報の取り扱いについて

申込用紙に記載される事項（選手の氏名・学校名・体重等）は大会プログラムに掲載されます。また、大会結果・写真などの新聞・雑誌・ホームページへの掲載については保護者からの承諾を得たものとして取り扱わせて頂きます。

- (5) 前大会優勝チームは優勝旗をご持参願います。

小学生低学年の部：千歳柔道スポーツ少年団

小学生高学年の部：南幌町柔道少年団A

中学生の部：南幌町柔道少年団